



平成26年9月3日

各位

上場会社名 株式会社 ランドビジネス
 代表者 代表取締役社長 井出 豊
 (コード番号 8944)
 問合せ先責任者 専務取締役管理部担当 森作 哲朗
 (TEL 03-3595-1371)

業績予想の修正および特別損益に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年11月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,700	1,800	900	4,800	191.33
今回修正予想(B)	4,950	800	△270	2,700	107.62
増減額(B-A)	△1,750	△1,000	△1,170	△2,100	
増減率(%)	△26.1	△55.6	△130.0	△43.8	
(ご参考)前期実績 (平成25年9月期)	4,951	1,351	470	327	13.06

修正の理由

不動産価格が上昇し新規取得が厳しい市場環境を考慮し、売却を予定していた販売用不動産3物件の売却を取り止め、固定資産に振替え保有することとしました。また、良好な金融環境を利用して既存融資の借換えによる借入金利の低下及び10年から20年の長期固定化を図ると共に減価償却費と利益で借入金で年間返済を賄える体制としました。

以上から、売上高は販売用不動産の売却を取り止めたこと等により49億50百万円となる見込みです。

営業利益は上記売却を取り止めたこと、低価法による棚卸資産の評価損を売上原価に計上すること等により8億円となる見込みです。経常利益は上記要因に加え、借換えに伴う抵当権設定費用、社債発行費用等を計上することとなり2億70百万円の赤字となる見込みです。当期利益は横浜プラザの売却益約84億円を特別利益に計上しましたが、物件売却を取り止めたこと及びオフィスビルテナントの退去に伴う収益性の低下から固定資産の減損額の計上、返済及び借換えに伴う金融費用を特別損失に計上することとなり、27億円となる見込みです。

以上の理由により、売上、利益ともに前回の予想を下回る結果となり、通期業績予想を修正しております。

なお、配当予想(年間配当1株当たり10円)に関する修正はありません。

(注) 上記に記載した通期の業績予想につきましては、本資料の公表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

2 特別損失の計上

当社は、平成26年9月期(平成25年10月1日～平成26年9月30日)において、特別損失を計上しますので、お知らせします。

- (1) 固定資産の減損額 18億円
- (2) 返済に伴う金融費用 5億50百万円
- (3) 役員退職慰労引当金計上額 1億90百万円

以上